

# 吹田民主商工会 いんぷお めくしよん

吹田市川園町20-1  
TEL (06) 63833-2211  
FAX (06) 63822-8190  
http://www.suita-minsyou.com  
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の  
昼2時・夜7時  
なんでも相談会

## 「格差と貧困」許さず、憲法を暮らしに生かす政治を前に進めよう

**政策を見極め、騙されない総選挙**  
いよいよ総選挙です。2009年、小泉構造改革で壊された国民生活を立て直そうと、国民はその願いを民主党に託しました。ところが民主党は、選挙公約よりも国会運営に奔走してしまいました。その結果、自民・公明の戦略にはまって、公約まで投げ捨ててしまいました。普天間はそのまま、消費税を増税し社会保障も壊してきました。東日本の復興も脱原発も置き去りにして、党利党略に明け暮れています。私たちの願いは見事に裏切られてしまいました。私たち国民は少し回り道してしまいました。その回り道で分かったのは民主党が自民党と同じ軸足で立っているということ。アメリカ言いなり、財界言いなりでは国民の願いに答える政治はできません。憲法が政治にそのまま生かされるのが大切です。今度の選挙は言葉に騙されることなく、憲法を暮らしに生かす実践をしている勢力を伸ばしましょう。

### 最大の争点は暮らしと平和、日本国憲法の実践

民主、自民、公明、維新に共通していることが二つあります。一つは小泉構造改革路線の復活です。この路線は、消費税を増税し、社会保障を切り捨て、国民の税金を「国際競争」や「都市間競争」を口実に大企業のもうけ優先に使おうという作戦です。脱原発を決意できないのも、国民の命よりも大企業の利益を優先する考えから抜け出すことができないからです。TPPは大企業のもうけを拡大させる政策です。農業や林業・漁業だけではなく、全ての産業に影響を与える亡国の経済、社会政策です。

### 幕引きは許されない!!

### 徹底説明が市民の声

吹田市が井上市長の後援会企業に太陽光パネル設置工事を単独随意規約で発注した問題で、11月19日、富田雄二副市長が引責辞任しました。「契約に問題はない。誰かが責任をとらなければならぬ」ということが辞任の理由となっています。この問題では、井上市長が大阪維新の会を離党しています。(私設秘書が受注関連企業の役員に就任していた件ではマスコミ報道後即刻解雇しています。)市長も副市長も「契約に問題はない」としながら、このような行動をとっています。何かがあると思われるのが庶民感覚ではないでしょうか。副市長が辞任したことで疑惑が解消されたわけではありません。これほど不明朗な事件はありません。徹底した真相説明が求められています。吹田民商は11月20日、村上副会長と土井副会長が竹内忍一市議会議長と市議会の全会派に対して、太陽光パネル設置工事や私設秘書の件の真相説明を行うことを求めて要請行動を行いました。

### 選挙後に大規模な政界再編の可能性も

民主、自民、公明は対立しているかのように見えますが、この3年間の政治は、ほとんど「連立政権」でした。3党の密室政治が国民生活を切り捨ててきました。選挙後に連携する可能性が高まっています。維新とみんなの党や減税生活と社民なども連携の可能性があります。政治家が離合集散する姿を見ると、この先が見えず混沌としている社会ですが、選挙後は政策によって結集する政党本来の形が形成されようとしています。そうなれば政治の姿が見えやすくなります。政党力で競い合う社会の到来を期待する総選挙にしていきましょう。少なくとも、無くなる政党、離合集散した政治家に騙されない選挙にしましょう。

### 吹田市議会が百条委員会設置の方向を確認

吹田市議会の議会運営委員会は11月20日、この間の一連の疑惑問題で、地方自治法に基づく調査特別委員会(百条委員会)を設置することを全会一致で決定しました。20日以内に臨時市議会が開催され正式に決まる予定です。ありもしない「財政非常事態」を理由にして福祉や住民生活に直結する施策を大幅に削減し、他方でこのような疑惑を抱かれるような市政は許されません。徹底した疑惑の解明が期待されています。

### 伝言板

#### 国保料、国税、住民税の減免・分納相談会

11月29日(火) 昼2時00分 市役所ロビー集合  
参加希望者は事前に事務局へご連絡ください。

#### 記帳講習会半日終了コース

大商連作成のエクセル会計を紹介します  
12月2日(日) 朝9時00分 民商会館  
筆記用具、電卓、通帳、1か月分の領収書等

お買い物は地元の市場商店街で。商工業者の繁栄は市民と一緒!